

教科: 受験日本史 科目: 選択 単位数: 単位 2
 対象学年組: 第 1 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者: (1～3組: 湯浅 (4～5 組: 湯浅
 使用教科書: (日本史探求 (実教出版))

教科 0 の目標:
 【知識及び技能】
 【思考力、判断力、表現力等】
 【学びに向かう力、人間性等】

科目 受験日本史 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○日本の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。	○歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。	○歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。○より良い社会の実現を視野に、自身のかかわりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第一部 原始・古代の日本と東アジア 第1章 日本文化のあけぼの ・旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解させる。 ・自然環境と人間の生活の関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する間いを表現させる。	日本文化のあけぼの 1. 日本列島最古の文化 2. 縄文時代の社会と文化 3. 弥生時代の社会と文化	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート・討論や発表 ・人類の進化する過程、さらに日本列島に人類が居住し文化を築いていく過程について理解している。(知) 人々はどのような工夫をして生活を営んでいたのか (思) 主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。(態)	○	○	○	4
	第2章 ヤマト政権の成立と古墳文化 ・国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解させる。 ・中国大陸・朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目して、 ・国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解させる。	第2章 ヤマト政権の成立と古墳文化 1. 小国の分立と邪馬台国 2. 古墳の出現とヤマト政権の成立 3. ヤマト政権の展開と統治の進展 4. 古墳時代の生活と文化	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート・討論や発表 ・国家の形成過程について理解している。(知) 人々はどのような工夫をして生活を営んでいたのか (思) 主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。(態)	○	○	○	6
	中間試験	知識の定着度・達成度を測定する		○	○	○	1
2 学期	第3章 律令国家の形成 1. 古代国家の形成 2. 飛鳥文化・白鳳文化 3. 律令制度 4. 奈良時代の政治 5. 天平文化 律令国家の形成・律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解させる。 ・中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、古代の国家の形成過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。	第3章 1. 古代国家の形成 2. 飛鳥文化・白鳳文化 3. 律令制度 4. 奈良時代の政治 5. 天平文化	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート・討論や発表 ・国家の形成過程について理解している。(知) 人々はどのような工夫をして生活を営んでいたのか (思) 主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。(態)	○	○	○	10
	期末試験	知識の定着度・達成度を測定する		○	○	○	1
	第4章 古代の国家・社会の変容 ・貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解させる。 ・地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について 第2部 中世の日本と世界 第1章 荘園公領制の成立と院政	1. 律令体制再編期の政治と社会 2. 撰閣政治の成立と支配体制の転換 3. 国風文化 第2部・貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解させる。 ・権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現させる。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート・討論や発表 ・国家の形成過程について理解している。(知) 人々はどのような工夫をして生活を営んでいたのか (思) 主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。(態)	○	○	○	10
中間試験	知識の定着度・達成度を測定する		○	○	○	1	

	<p>第2章中世の国家・社会の展開 ・武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解させる。 ・公武関係の変化、宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目する。</p> <p>第3章中世の国家・社会の変容 ・武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解させる。</p>	<p>1. 鎌倉幕府の成立と朝廷 2. 中世に生きる人々 3. 蒙古襲来と幕府の衰退 4. 鎌倉文化</p> <p>第3章 1. 南北朝の動乱・武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解させる。</p> <p>・公武関係の変化、宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる</p>	<p>・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート・討論や発表 ・国家の形成過程について理解している。（知）人々はどのような工夫をして生活を営んでいたのか（思）主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。（態）</p>	○	○	○	10
	期末試験	知識の定着度・達成度を測定する		○	○	○	1
3 学 期	<p>第3部 近世の日本と世界 第1章東アジアの世界の変容と天下統一 1. 織豊政権 2. 天下統一の完成</p>	<p>2. 室町幕府の政治と外交 3. 室町社会の展開と応仁の乱 4. 室町文化 5. 戦国大名の分国経営</p> <p>第1章のねらい ・織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解させる。 ・村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p>・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート・討論や発表 ・国家の形成過程について理解している。（知）人々はどのような工夫をして生活を営んでいたのか（思）主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。（態）</p>	○	○	○	4
	期末試験	知識の定着度・達成度を測定する		○	○	○	1
							合計
							60